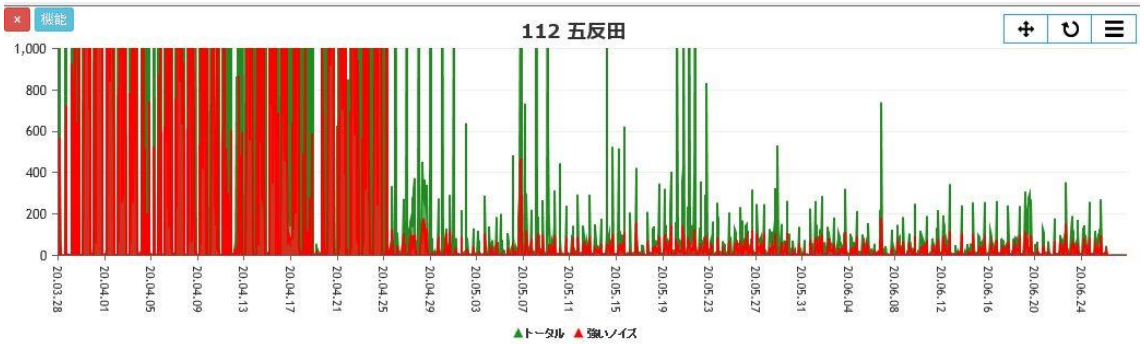
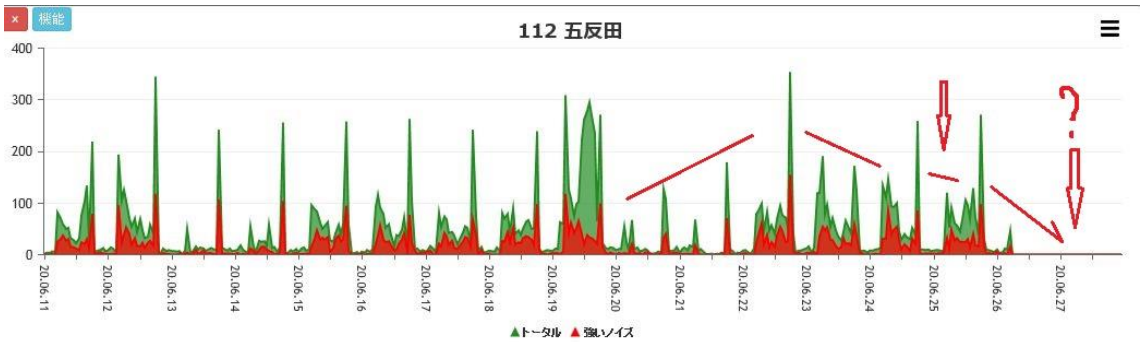
200626 関東、直下型の本震に警戒を。
＞関東の地震、千葉東方沖 M6.2 のその後について

昨日（6 月 25 日）早朝（AM4 時 47 分）に発生した、千葉県東方沖 M6.2 の地震は　いままで長期に続いた五反田のデータの収束と、6 月初めのころから出てきた世田谷の複数の大きな 1 本立ちのデータが関連していたと考えられます。
しかし五反田の長期のデータを全体から見た場合には M6.2 では規模が小さいようにも思えており、これが前震であった、という可能性は残ります。また以下の各観測点のデータも昨日（6 月 25 日）の段階では必ずしも完全な収束では無いようにも見えます。
過去にも 2011 年 3 月 11 日の東日本大震災や 2016 年 4 月 16 日の熊本地震も、2 日前に前震が発生しています。
今回の五反田の長期のデータは 2 段階になって収束していますが　これが、2016 年の熊本地震の前兆と考えられる高知 B449 の長期データの段階的な収束の形に良く似ています。
こうしたことから　仮に昨日（6 月 25 日）の M6.2 が前震であった場合には　今日明日でさらに大きな地震（M6 の後半～M7 クラス）も考えられることから　念のためですがここ 2～3 日は警戒しておいたほうが良いと考えます。

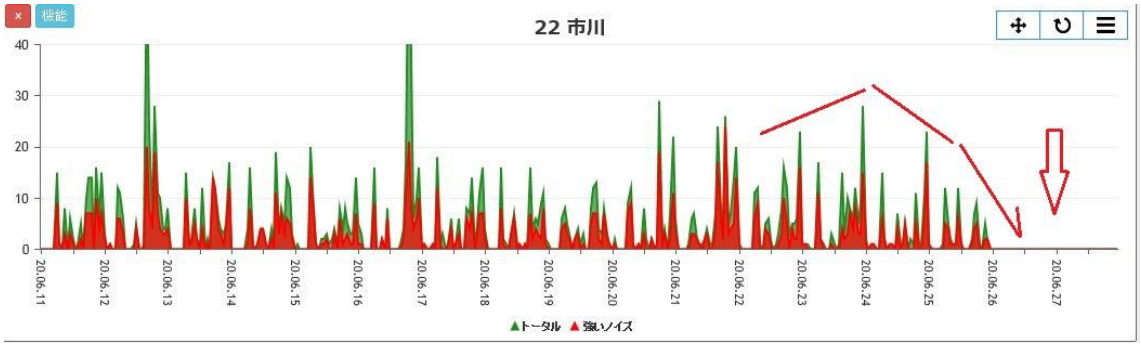
以下に関連のグラフを載せます＞
五反田　6 月 26 日 90 日データ（拡大）



五反田　15 日データ

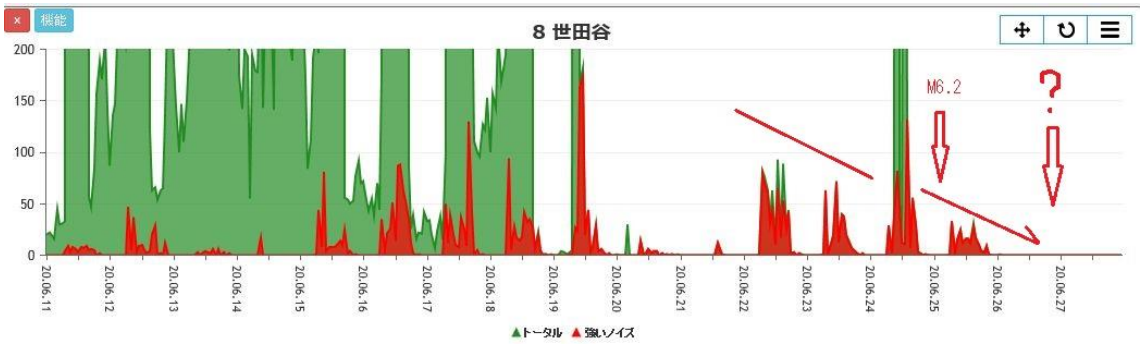


市川　15 日データ

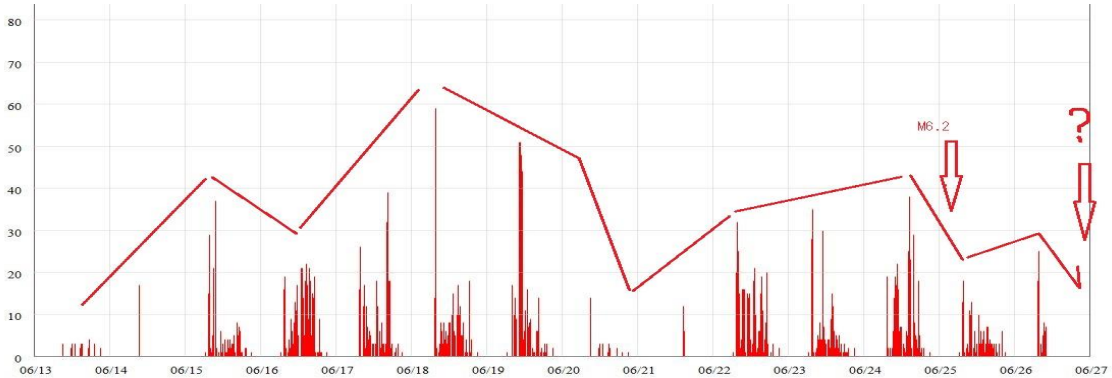


世田谷　30 日データ

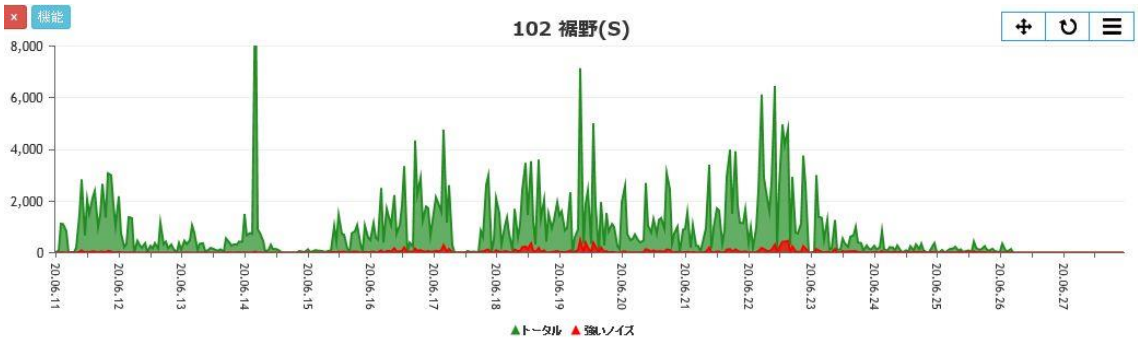
世田谷　15 日データ



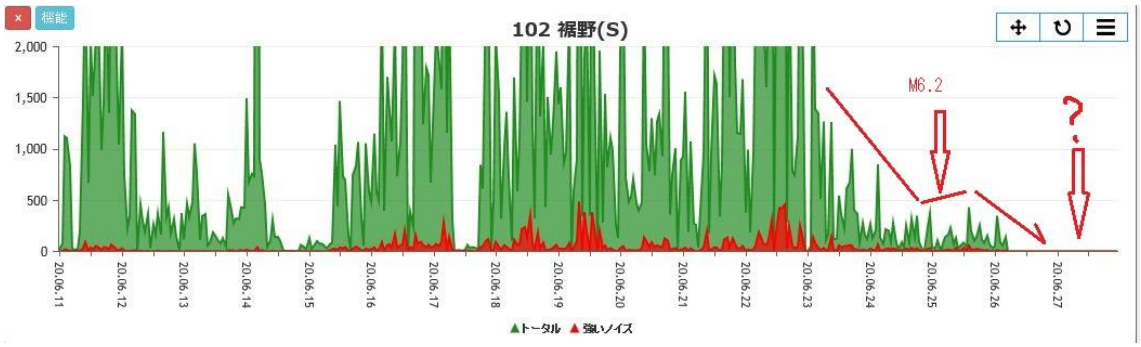
世田谷　HIGH ノイズ 10 分間データ



裾野 15 日データ

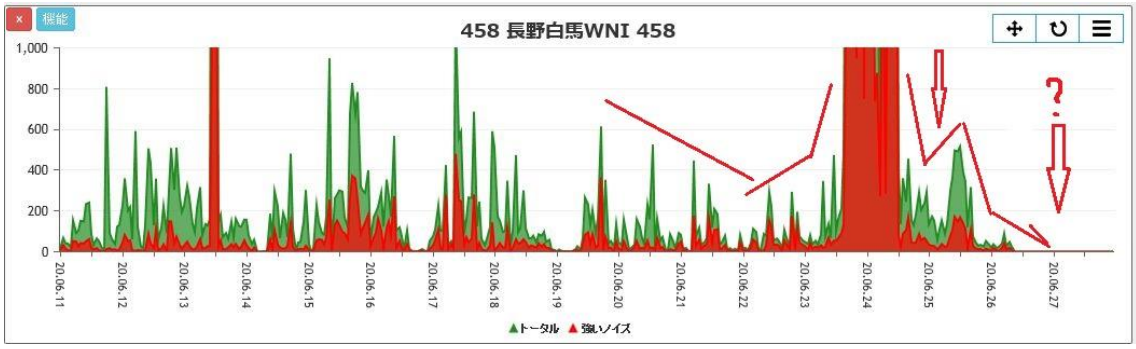


裾野 15 日データ（拡大）

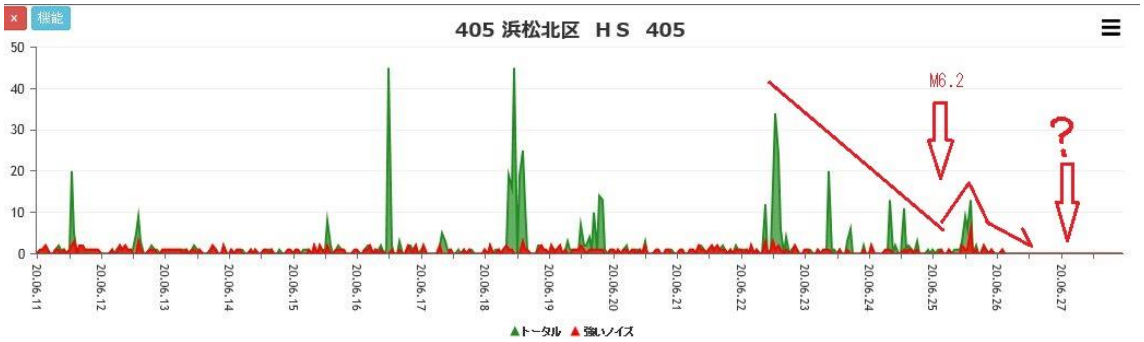


白馬　15 日データ

白馬　15 日データ（拡大）



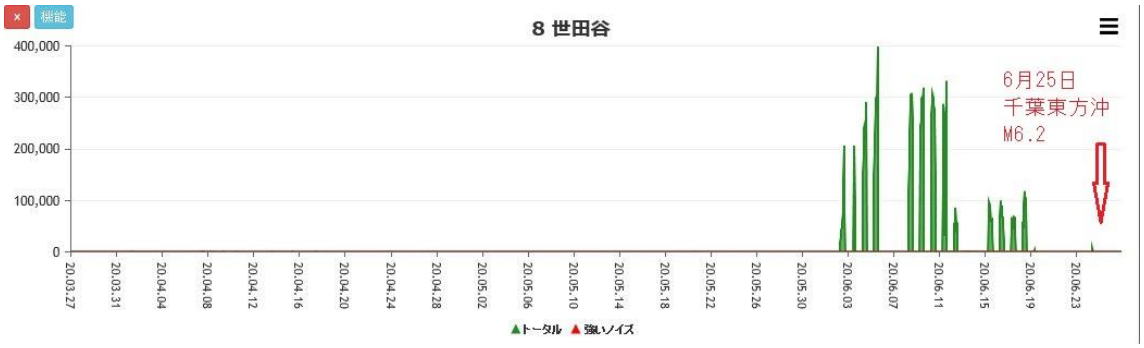
浜松北区 405　15 日データ



参考：世田谷 90 日データと関東の M5 以上の地震の関連＞

世田谷の 3 月からの 90 日間データと関東の M5 以上の地震の関連をグラフにしました。

世田谷の大きなデータが千葉県東方沖 M6.2 の前兆であったことが良くわかります。



200626 関東で虹色アーク出現＞

本日（6 月 26 日）、ネット上に、関東では、南の空にきれいな虹色の雲が見えているところがあります、この現象は「環水平アーク」と呼ばれ、氷の粒で出来た薄い雲によって太陽光が屈折することで虹色に見えています、というニュースが流れています。しかしこの虹色の雲は　大地震の前兆現象としても有名で椋平（むくひら）虹と呼ばれています。

東京上空に虹色の雲「環水平アーク」が出現中

こうした宏観現象がこのタイミングで起きることは　さらに要注意と考えます。
このような現象も併せて考えて　念のため、ここ 2～3 日は本震に相当するような地震に十分に警戒しておいたほうが良いと考えます。